

1月9日 3学期始業式 校長講話

全校児童のみなさん、おはようございます。そして、新年 あけまして おめでとうございます。
楽しい冬休み・お正月をすごすことはできましたか。18日間の冬休み。始まる前は、けっこう長くお休みがあるなと思っていましたが、終わってみれば、あっという間だったように感じます。

新年は、元日から大きな地震があり、そのニュースを見るたびに心が痛みました。被災地では、こうして3学期を始められていない学校がたくさんあると思います。少しでも早く落ち着いた毎日を取り戻すことができるようにお祈りしています。大きな災害では、身を守るのにも限界があるとは思いますが、あらためて日頃から、地震がおきた時の行動、津波がくる時の行動、火事がおきた時の行動など、しっかり考えて訓練しておかないといけないと思いました。

さて、3学期始業式の校長先生のお話の題は「ますます成長しよう」です。2学期終業式のお話の題が「成長できたかな」だったので、そのふりかえりとつづきです。

「成長」は、これまでできなかつたことができるようになること、これまで気づけなかつたことに気づけるようになることです。学校では、たくさんの授業やたくさんの行事で、みなさんが「成長」して前に進んでいけるように背中を押しています。

「成長」するには頑張ることが必要です。みなさんには「頑張る子」でいてほしいです。

「成長」するのは1人では難しいです。みなさんには「優しい子」でいて支えあってほしいです。

1学期・2学期と、みなさんはそれぞれたくさん「成長」したと校長先生は思います。

3学期、そして新しい1年。みなさんがますます「成長」できますように。これが校長先生の強い願いであります。先生たちや、お父さんお母さんの願いでもあるはずです。

みなさん、ますます「成長」してくださいね。できなかつたことがたくさんできるようになり、気づけなかつたことにたくさん気づけるようになってくださいね。それはみなさんにとって、とても嬉しいことであるはずだから。

「成長」の話を、今日はもう1つ前に進めてみようと思います。

それはゴールについてです。みなさんがたくさん「成長」して目指すゴールについてです。

そのゴールを、姫島小学校は、「強い子」と定めています。正門の横には、大きな石に「強い子」と刻まれた石碑がありますよね。ずっと前から変わらない姫島小学校の目標です。

「強い子」。どんな子でしょう。

姫島小学校がみなさんの「成長」のゴールとして定めている「強い子」は、きびしい世の中を、自分らしく自信をもって生き抜いていける「強み」を1つでもたくさん身に附けている子です。みなさんは、それぞれ「成長」して、どんな「強み」を身につけたいですか。これについては、2月3日の創立150周年記念式典に向けて、この1月に、あらためてみなさんに考えてもらう機会をつくりたいと考えています。

さあ、今日から3学期です。4か月あった2学期とちがい、2か月半・10週間の短い学期です。きっとあっという間に感じると思います。充実した3学期でありますように。